



一生懸命演奏し、祭りを盛り上げた美和つ子太鼓の皆さん

牛窓町総合福祉センター おはなしフェスタ2006春  
で4月23日、おはなしフェスタ2006春が開催されました。絵本好きな子どもたちが、お父さんやお母さんと一緒に参加。エプロンシアターや大型絵本、パネルシアター、ペープサートなどが行われ、約60人の参加者は、絵本の読み聞かせに熱心に聞き入っていました。

牛窓町総合福祉センター 読み聞かせをしたのは、市内のボランティアの皆さん10人。わらべうたでは、歌を歌いながらみんなで手遊びをして、楽しい時間過ごしました。

須恵古代館周辺で5月3日、須恵古代まつりが開催されました。

須恵古代まつり 大勢の皆さんのが楽しんだ  
須恵古代まつり たいです」と感想を話していました。



わらべうた「林の中から」を歌いながらみんなで手遊びをしました



子どもたちがだんじりの上で元気よくしゃぎりをはやしました

4月29日、大賀島寺で権現祭りが行われました。豊安・邑久郷・仁生田・円張の子どもたちが、日ごろから懸命に練習したしゃぎりを奉納。もちつき大会も行なわれ、子どもたちの大きな歓声が上がっていました。午後からは、子どもたちを乗せた大人たちが大人たちに引かれ、勇壮に練り歩きました。大人のみこしや子どもみこしも祭りを盛り上げ、皆さん顔をほころばせながら、祭りを満喫していました。

オーピングニングは、古代の道具を使つた火おこしで、地域の子どもたちが体験。おこつた火は灯火台に点火されました。火おこしに挑戦した馬場裕太君（11歳・長船町西須恵）は、「あと少しだったのに、火が付かないで残念。また挑戦してみ

その後、美和つ子太鼓や大正琴の演奏があり、祭りを盛り上げていました。会場周辺では、地元の皆さんのが屋台を構え、イカ焼きなどを口にほおばる家族連れの姿も見られました。

またカラオケやビンゴゲームも行われ、地域の皆さんが触れ合う楽しい祭りとなりました。

## 楽しい絵本の世界へ

おはなしフェスタ2006春



約60人の行列が東壽院から遍明院へ練り歩きました

窓町千手（牛窓町千手）で5月5日、県指定重要無形民俗文化財の脚供養が行われました。弘法寺の脚供養は、奈良時代の「中将姫伝説」の物語を劇化したとりわけ珍しい祭りで、日本三大脚供養の一つとされています。

法要後、ドラや鉢が鳴る中、6観音・地藏・天童・僧侶・稚児などの大行列が、ゆづくりと東壽院から遍明院へと練り歩きました。行列は、大勢の見物人が見守る中、厳かに執り行われました。

3月31日、瀬戸内市の地域再生計画『瀬戸内の人と自然が共生するまちの再生計画』が内閣府で認定されました。これにより、有利な財政支援措置が国から受けられるようになります。

この計画では、市民の皆さんのが高いたい、公共下水道事業や農業集落排水事業などの汚水処理施設の整備を自然環境に配慮しながら効率的に推進。

市民の生活環境の改善・地域の活性化を図り、心が安らぎ、にぎわいのある地域に再生することを目指します。



名車MG-Aが登場すると、大きな歓声が上がりました

黒井山グリーンパークで4月16日、「ゆうゆう交流館」オープン2周年記念イベントが開催され、市内外から大勢の観光客が集いました。またこの日、世界のク

カウンタックやMG-Aなどの名車が、次々に会場に登場すると、自動吹奏楽演奏、ジャージー牛との触れ合い体験などが催され、市内外から大勢の観光客が集いました。またこの日、世界のク

ラシックカー約80台が集結する「ポンテペルレシックカークラブなどでも構成する実行委員会」も同時開催。

## 勇壮に練り歩く

大賀島寺で権現祭り



首相官邸で行われた認定書授与式にて